

保育上保健増進に就きて

京都市永觀堂幼稚園 牛 島 隆 則

十月十七日京都市に於て、開催せらるゝ關西保育大會の折、大阪市保育會提出の問題に對し、京都市保育會より永觀堂幼稚園へ答辭を要求せられたる處、本園は日淺き關係上、他の幼稚園にて處理方申出て斷りたるも、是非共引き受けよとの事情の許に、未熟を顧みず起案せし者なれば其旨茲に附記致し置きたる次第なり。

大阪市保育會提出問題

保育上保健増進に就きて最も効果ありと認めらるゝ事項特に都市幼稚園に於て夏期休暇中の保育と其施設を承りたし。

其一、保育上保健増進に就きて最も

効果ありと認めらるゝ事項

幼兒の健康を増進するためには、體育方面と衛生並に精神方面と相待て、幼稚園の環境と設備に應じ、各々適切な手段と方法を講究せざる可らず。

茲には調査の結果、遺憾ながら主として、永觀堂幼稚園の環境と設備に應じ、同園の今日まで實施し來れる方法中の効果ありと認めたる事項を簡單に列記せんとす。

甲、體育方面

一、室外保育の勵行

例へば幼兒の在園時間を五時間とすれば、普通室内保育に約一時間（朝禮、晝食お歸りの式等、雨天等の場合は此の限りにあらず）残り約四時間を室外保育に充當するが如し。

二、室外保育の重なる事項

(イ) 毎朝東運動場にてラヂオ體操終て南運動場の

小丘登り、砂遊び、ブランコ、駢足競争、縄引競争
バスケットボール、小川及プール水遊び、大積木遊
び、手技（粘土）遊戯、談話、觀察、唱歌等。

(ロ) 永觀堂本山境内の利用

自然の遊び場として、境内にある石段の昇降運動、
本山裏の山登り、本山裏の山の椎拾ひ（季節のみ）、
放生池の周圍廻り等。

(ハ) 東山登り

若王子より南禪寺に亘る東山登り、其時間約二時間
を要す。

乙、衛生方面

(イ) 齒の検査並治療

齒科顧問の検査を受け「カード」に結果記入し、半
片を保護者に通知し、府立病院に於て、所要の治療
を施す。

(ロ) 齒衛生に關するお話及活動映畫

(ハ) 食後含嗽場に於て含嗽の勵行

(ニ) 身體検査

毎學期の初めに園醫にて身體検査を行ふ。

毎月體重を測定す。

夏期林間中は初めと終りに體重を測定し、特に初め
には身體一般の検査を行ふ。

虛弱園児に對しては、保健顧問時々診察を行ふ。

(ホ) 身體各部清潔の勵行

毎月曜日に爪、口中及齒の検査。

食事前先の洗淨に注意し、殊に外出より歸宅の際は
必ず口中、顔、手を充分に洗ふこと。

(ハ) 太陽燈の利用

保健顧問指導の許に、凍傷の豫防、其他の輕き病症
に應用し來れり、何れ其効果の如何は發表の時機あ
らん。

丙、精神方面

(イ) 常に精神の緊張を保持することに注意し、毎朝
講堂に於て君カ代合唱、御眞影に對し最敬禮、尤も嚴
肅に朝禮を行ひ、時々教育勅語を捧讀す。

(ロ) 毎月二回以上、禪林寺派管長より頂戴せる珠數

を携へ、本山に参詣し、同管長の讀經並に有益なるお話を拜聴す。

以上の如き保育を實施し來れる結果、保護者より常に感謝を以て迎へられつゝあり、其著しき二、三の實例を擧ぐれば、

(一) 獨りで歩行困難なるため、毎日大學病院にて治療を受けつゝめりし六才の幼児(女)が昨年八月一日林間學園の折入園し、同月十三日の修了式には、早や自由歩行し得る程度に至り、目下健康状態となれり、大學病院の治療は入園當日より之を中止せりと云ふ。

(二) 冬期には毎年常習的に風邪のため、醫師の絶へ間なき幼児が、昨年九月入園以來今日まで、一度も風邪にかゝらぬ様になれり。

(三) 虚弱兒にして醫師も、殆んど策の施し様もなかりし幼児が、昨年九月入園以來、食慾の増進と共に、血色と肉付共に良くなり、健康體となれり。

(四) 食慾進まず、常時胃腸を害し、不健康勝ちなりしお子達が、入園後日ならず食慾は増進し、胃腸は健全

となり、健康體となれり。

(五) 入園後日ならず、不思議にも、便通が規則的になりたと父兄よりの申出。

(六) 入園前は醫師にかゝらざる月なかりしも、入園後は日ならず血色よく、丈夫になり、風邪にかゝり發熱しても、容易に回復する様になれり。

(七) 東京市小石川在住の、獨り子の虚弱兒(男)が昨年四月母親同伴態々本園に入園したる處、申分なき健康となり、本年四月東京小石川竹早師範附屬小學校に首席にて入校し、目下優秀の成績を擧げつゝある趣なり。

(八) 獨り子で虚弱兒の在園者の比較的が多いが、何れも日に増し食慾の増進と共に、元氣を増し健康體となり、保護者は非常な満足である。

(九) 従來齒科醫の治療を嫌ふ習慣ある幼児が齒の検査の結果、幼稚園より引率して府立病院に治療を受けて以來、喜んで治療を受ける様になり、近來一般に保護者も幼児も、よく齒に注意する様になれり。

其二、都市幼稚園に於て夏期休暇中

の保育と其施設

永觀堂幼稚園に於て、園児を中心とし、市内小學校幼學年生參加の許に、昨年夏期より林間學園を開催し、本年も七月二十三日より八月十三日に至る間、毎日午後四時まで小學兒童及園兒約二百八十名の共同生活を營みたる實況の概要を左に略述せんとす。(詳細は「楓園」第二號参照)

一、毎日日課の概要

- (イ) 午前九時までは自由遊戯
 - (ロ) 午前九時運動場に於て、全員君カ代合唱の許に朝禮を行ひ、終てラヂオ體操
 - (ハ) 小學校兒童は林間に設備せる教場にて、先生監督の許に、朝の間の復習及自習等、園兒は平常の通り(前章参照)
 - (ニ) 午前十一時四十分晝食
- 園兒は平常の通り娛樂室にて行ふ
小學校兒童は林間教場に於て行ふ
食事に當り園長並主任指導の許に

「箸とらは天地御代の御恵み

父母や師匠の恩を味へ」

の歌を合唱の上、一齊に箸を取る、最後に一同感謝の詞を唱へて食事を終る

(ホ) 午後は小學兒童も園兒と共に、ボール、小川の水遊び、其他の自由遊戯

(ヘ) 午後三時間食

保健顧問監督の許に、芋、ビスケット、エリー、ばん、鹽せんべい、牛乳等を給す

(ト) 午後四時運動場に全員集合、お歸りの式を行ひ自動車通園者は、所定の場所に至り監督先生指導の許に、點檢の後、乗車歸途に就く。

二、以上日課の外林間中に實施したる重なる事項

- (イ) 東山登り
- (ロ) 林間中の兒童並園兒生活狀態の活動撮影
- (ハ) 平安神宮參詣
- (ニ) 動物園見學
- (ホ) 八月七日七夕祭(保護者集合)の催し

(ハ) 七月三十日明治天皇祭を舉行し、本山に參詣し
 管長の讀經並大帝に關するお話

(ト) 茶話會

(チ) 學藝會

(リ) 林間中の成績展覽會

(ヌ) 活動映畫會 (林間中の生活狀態の映畫並爆彈三

勇士等)

(ル) 童話

三、通園用自動車の利用

本園の通園區域は京都市の大部分に亘れるを以て、昨年四月より通園用自動車の途を開き、目下七臺を使用し、約百名の送迎を實行しつゝあり、本年の夏期林間には十二臺を使用し約百六十名の送迎を行ひたり、今日まで自動車通園に關し何等故障なく經過し來れり。本年の夏期は特に暑氣甚しかりしに拘らず、兒童及園兒は毎日午前四時まで、長き時間の立つのも忘れ、伸びぐとして毫も疲勞の氣色なく、元氣に毎日殆んど缺席者なく何等の故障も起らず經過する事を得たり。保護者及兒童の

中には、八月末まで林間學園の繼續希望を申出てる者も少なからず、殊に熱心なる保護者は八月末まで繼續し、其繼續期間の監督は、保護者に於て分擔すとの申出もあり、「來年もくるから頼みます」とて先生に約束せる幾多の兒童も見受けたり。

要するに夏期に於て、斯る施設を保護者側が如何に期待せるかを推察する事を得るを以て、將來夏期に於ても、普通の通り保育を繼續する様計畫せんとす。

三、結 論

要之幼兒の健康を増進するには、園の環境と設備に應じ種々の方法手段があるが、要は自力の途を講じ、幼兒の足の發達に留意し、生土を踏み、自然に親ましむるため、幼兒の室内に止まる時間を極減し、室外生活の時間を多からしむる事が必要條件と云はざる可らず。然るに都市幼稚園の多くは此必要條件を充足する爲めには、其の施設なり、環境が餘りにも貧弱過ぎ、一方都市の狀勢は、近來著しき發達に伴ひ、幼兒の生活は日に々脅威を受けつゝあり、

斯る状態の許にありて、幼児の健康増進を望むことは、教育者たる御互共の努力と苦心を以て、難事中の難事と云はざる可らず。

故に今日の都市幼稚園は、幼稚園本来の使命の外に、都市の發展につれ環境の變化に伴ひ、日にく脅されつゝある欠陥を補足するため、都市幼稚園教育者たる吾々共は、日夜思を茲に致し、頭を絞り、渾身の努力と勇氣を以て、保育事業に當らざる可らず。

最近我京都市では、日影幼稚園、下總幼稚園等が率先して自動車を購入し、園児を郊外に送り出し、自然に親む機會を與へつゝある事は、都市幼児の保健増進上偉大なる効果を現すことは、火を見るより明なりと信ず。

従來夏期に於て、一般に休暇も實施し以て、保育を中絶の状態に陥らしむることは、教育上甚だ遺憾とする處なり左りとて都市幼稚園一般の情勢を考察するに、夏期の保育を續繼することは、頗る困難なる事情にあるを以て、將來都市幼稚園にては、交通機關の利用を研究し、幼児郊外保育の發達を企圖することが、幼児保健増進上最も効果ある

方法たるのみならず、都市に於ける夏期保育の實施を容易ならしむる唯一の方策と考ふ、然るに之が實現の如何は一に當事者たる吾々共の努力如何にあることを覺悟せざる可らず、殊に近來一般に夏期林間學校の開催、年々増加の傾向にあることは、邦家の爲め喜ばしき現象なり、將來斯る企の益々普及し以て、夏期保育の進展を切望して止まざる次第である。

附記

永觀堂幼稚園に於ける保育及保健衛生に關しては左の諸氏の指導を仰ぎ居れり。

保育顧問	文學博士	小西重直
園醫	醫學博士	富田精
同女	醫學博士	富田房子
齒科顧問	府立醫大教授	本永七三郎
醫學博士	醫學博士	岡部理吉
保健顧問	岡部小兒科	岡部理吉
副院長	岡部小兒科	岡部理吉